

第5回 (2006. 10/14・15)

第1回目の出演者公募に応募し出演した風味堂が、毎回出場ステージをステップアップさせ、5回目にして遂にメイン会場に登場、まさにMCTを象徴するアーティストとして大きな拍手と歓声を浴びた。また初めてテレビの生放送特番を行うなど事業規模が拡大。ついに動員数は大台の10万人を突破した。

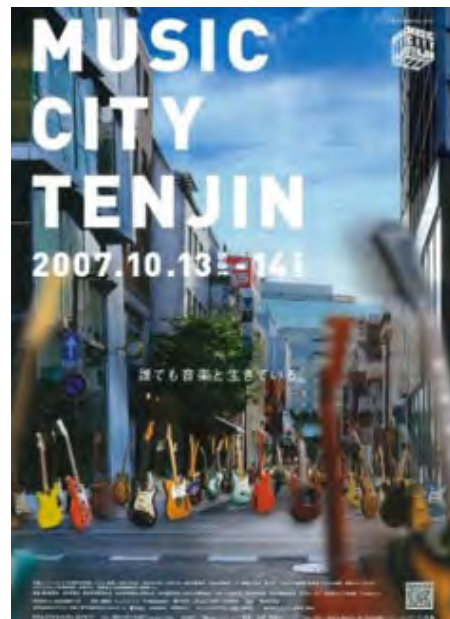
主な出演アーティスト： Skoop On Somebody、佐藤竹善、一十三十一、カラーボトル、唄人羽、GOING UNDER GROUND、風味堂、kaede、ベベチオ、シュノーケル、長澤知之、オトナモード、chiyo、金城綾、ナオミヨシムラ、加藤直樹、COOL M.B.、橋本昌彦、岡部諒輔、星月、berry、theSoul、広沢タダシ、大久保海太、伊禮麻乃、中孝介、中島卓偉、CHABA、Bophana、ASIA SunRise、Hands of Creation、おおはた雄一、曾我部恵一、トライプレン、C-999、松千、シガキマサキBAND、スムルース、ビアンコネロ、矢野真紀 (ほか) (順不同)



第6回 (2007. 10/13・14)

ドコモステージ（福岡市役所西側ふれあい広場）には初めての大トリを努める風味堂を始め、九州沖縄出身の若手アーティストが大挙して出演。また1回目のMCTに出演し、その後急逝したジョー・ストラマ-氏の伝記映画公開記念のトークイベントに、その時共演したモッズの森山達也が友情出演するなど、6回目にしてMCTのヒストリーを感じさせるイベントなども実施した。

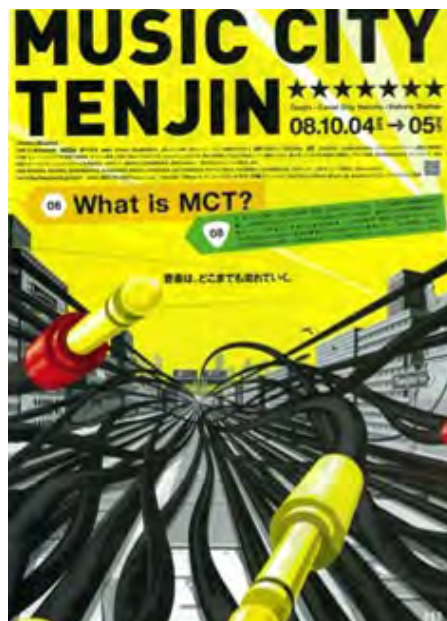
主な出演アーティスト：青山陽一、akiko、アナ、今沢カゲロウ、磯貝サイモン、うか、唄人羽、梅星、岡部諒輔、小曽根真、おおはた雄一、All Japan Goith、コトリング、KUMAMI、COOL M.B、GO!GO!7188、坂田学、シュノーケル、スカンク兄弟、スムルース、鈴木茂、ji ma ma、高田漣、高野寛、寺尾紗穂、堂島孝平、CHAKA、CHERRY LYDER、中山うり、二千花、Natural Radio Station、原田郁子(クラムボン)、ピース、ピストルバルブ、風味堂、BROWN SUGAR、HIGH and MIGHTY COLOR、森山達也 (THE MODS)、ROVO (ほか (順不同))



第7回 (2008. 10/4・5)

ついに天神地区のみならず博多地区にも初めて進出。新しく会場となった「博多駅まつりステージ」「チャンネルシティ博多」を含む35会場で実施した。メインステージであるドコモステージ（福岡市役所西側ふれあい広場）では照明を設置し、夜間もステージを行う。2日目は開催7回目にして初めての雨にもかかわらず多くの観客が集まり、2日間の合計で11万人を動員した。

主な出演アーティスト：青山陽一、アンチノイズ、イルリメ、池上ケイ、唄人羽、おおはた雄一、オトナモード、Emi Maria、カトウタロウ (BEAT CRUSADERS)、神谷千尋、キセル、グッドラックヘイワ、コトリング、今野英明、KUMAMI、曽我部恵一、竹仲絵里、鶴、東京ローカル・ホンク、TRIPLANE、長澤知之、二千花、Natural Radio Station、原田郁子 (クラムボン)、pe'zmoku、PoPoyans、風味堂、矢野真紀、湯川潮音、U-DOU & PLATY、ヨースケ @HOME、LEO今井 ほか (順不同)



第8回 (2009. 10/3・4)

2008年にyahoo!JAPANドームで2万人の観客を集めたファッションイベント「FUKUOKA LOVE&COLLECTION」とコラボし、MCT前夜祭として「STYLE LOVE TENJIN」を実施。音楽とファッションが融合したプレミアムなイベントを開催。2年連続となる博多駅会場ではFM4局のサイマル生放送を実施、前夜祭も含め3日間の合計で12万人を動員した。

主な出演アーティスト：青柳拓次、アンダーグラフ、唄人羽、岡部諒輔、ANNY PUMP、加藤ミリヤ、亀田誠治、グッドラックヘイワ、コトリング、今野英明with安宅浩司、KUMAMI、砂川恵理歌、SOFFET、高田漣、高野寛、竹中絵里、つじあやの、東京ローカル・ホंक、DE DE MOUSE、TRIPLANE、will、中山うり、西野名菜、のあのわ、naturaline、ヒナタカコ、風味堂、BENI、Bottom、BROWN SUGAR、Peaky SALT、Prague、Vijandoux、ミサンガ、The Mercury Sound、山田稔明 (GOMES THE HITMAN)、Y U - A (ほか (順不同))

